

問1 農家の人たちが、自分で作った野菜やくだものを、買う人に直接（ちよくせつ）売るために開いている施設を何といいますか。

1. 直売所（ちよくばいじょ） 2. 青果市場（せいかいちば） 3. デパート 4. スーパーマーケット

問2 棒グラフを作る際、グラフの中に「その他」という項目を入れるのはなぜですか。

1. 縦軸の目盛りを少なくするため 2. グラフの見た目をきれいにするため 3. 当てはまる項目がないデータをまとめてグラフにするため 4. 計算をまちがえやすくするため

問3 食品工場で、仕事が忙しくて時間が足りないときでも、決して省略してはいけないことは何ですか？

1. 工場の中での挨拶 2. 衛生管理のための作業 3. 工場の宣伝活動 4. 休憩時間の延長

問4 使い終わったものを捨てずに、原料にもどして新しい製品に作り変えることを何といいますか。

1. しょうひ 2. むだづかい 3. リサイクル 4. ごみぶんべつ

問5 重い原材料を船で海外から運び込み、できあがった大きな製品を船で運び出すのに最も便利な場所はどこですか。

1. 広い公園 2. 山の中 3. 港の近く 4. 砂漠の中

問6 駅のまわりなどに、肉屋さんや魚屋さんなど、いろいろな専門店が集まっている場所を何といいますか。

1. 商店街 2. 工場 3. コンビニエンスストア 4. ショッピングモール

問7 農家でとれた野菜が、私たちの家の近くのスーパーマーケットに届くまでには、どのような仕組みが使われているのでしょうか。

1. すべての作物が、農家から直接各家庭に宅配便で送られる 2. 野菜はすべて、スーパーの店員さんが農家まで毎日取りに行く 3. 農家から集まった野菜を、トラックで市場から各地の店へ運ぶ 4. 野菜はすべて、冷凍庫の中でずっと保存されてから店に並ぶ

問8 工場で作られた製品は、どのような場所に運ばれますか？あてはまるものをすべて含んでいるものを選びましょう。

1. 市内の直売店だけでなく、遠くの地域やインターネットで注文した人の家 2. 工場の中にある倉庫にためておくだけ 3. 工場がある県内のスーパーだけ 4. 工場がある市内の直売店だけ

問9 スーパーマーケットで、牛乳パックや食品トレーをお客さんから集めるのはなぜですか。

1. 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため 2. 売れ残った商品を、安く売るため 3. お店の場所を広くして、買い物をしやすくするため 4. ごみを増やして、ごみ処理の場所を増やすため

問10 農家でとれた野菜は、どうして一度「青果市場」のような場所に集められるのでしょうか。その理由として正しいものはどれですか。

1. 野菜をトラックに乗せかえるためだけに使うため 2. 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため 3. 野菜を洗ってきれいにするため 4. 野菜を長い間保存して値段を上げるため

問11 製品をトラックで日本全国の町へ効率よく送るために、工場がわざわざ選ぶことが多い場所はどこですか。

1. 高速道路の入り口の近く 2. 海の中 3. 静かなお寺の中 4. せまい路地

問12 農家がお店に常駐することなく、野菜を置いておき、買う人が自分で代金を入れて商品を受け取る仕組みの販売所は何といいますか。

1. スーパーマーケット 2. 市の青果市場 3. 農業協同組合の直売所 4. むじんはんばい所

問13 野菜を収穫してからお店に並ぶまでの間に、時間が経つとどのようなことが起きますか。

1. 野菜の色が自動的にあざやかになる 2. 野菜の重さがどんどん増える 3. 野菜が自然に洗われる 4. 野菜の鮮度が少しずつ落ちていく

問14 収穫した後の野菜を、市場やお店に送るために行う「出荷のための準備」として、ふさわしくないものはどれですか。

1. 野菜の味を濃くするために、収穫直前に水をたくさんまく 2. 野菜に傷がないか確認する 3. 箱に丁寧に詰める 4. 大きさや形をそろえる

問15 棒グラフで、たて軸に「目盛り」を正しく書くために一番大切なことは何ですか。

1. 目盛りはすべて1ずつ書く 2. 一番大きい数字がグラフの中におさまるように目盛りを決める 3. 目盛りは書かなくても数字だけ書く 4. 縦軸はできるだけ短く書く

問16 スーパーマーケットへ見学に行くとき、店内で守るべきマナーとして正しいものはどれですか。

1. お店の人に質問をされたら、何も答えずに無視して通りすぎる。 2. 早く見学を終わらせるために、店内を走って移動する。 3. お店の人や買い物にきているお客さんに迷惑をかけないように行動する。 4. 売り物の商品にむやみにさわったり、大声でさわいだりする。

問17 週末に家族みんなで車に乗って出かけ、食事や買い物を一日中楽しむことができる、広い敷地を持つ大型の商業施設を何と呼びますか。

1. 地域の八百屋さん 2. ショッピングセンター 3. 通学路にあるコンビニ 4. 駅前の小さな商店街

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 直売所（ちよくばいじょ）	直売所は、地元の農家が自分で育てた野菜やくだものを持ちより、消費者に直接売る場所です。新鮮な野菜などが安く手に入り、作った人の顔が見えるので安心して買うことができます。
問2	答え 3 当てはまる項目がないデータをまとめてグラフにするため	調べたすべてのデータをグラフにまとめるためには、特定の項目に当てはまらないものも整理する必要があります。それらを「その他」として一つにまとめることで、すべてのデータをグラフに正しく表すことができます。
問3	答え 2 衛生管理のための作業	食品工場で最も優先されるべきは、製品の安全を守ることです。たとえ仕事が忙しくても、食中毒や異物混入を防ぐための手洗いや清潔な服装といった衛生管理をおろそかにすると、安全な食品を作ることができなくなってしまったため、どんなときも必ず守らなければなりません。
問4	答え 3 リサイクル	一度使ったものをそのまま捨てるのではなく、再び資源として使うことでごみを減らす取り組みのことをリサイクルといいます。資源を大切に使い、地球環境を守るためにとても重要なことです。
問5	答え 3 港の近く	大きな工場は、原料を大量に輸入したり、完成した製品をたくさん輸出したりするために、船が着岸できる港の近くに建てられることがよくあります。このように、物の運びやすさを考えて場所を選ぶことが大切です。
問6	答え 1 商店街	専門店がひとつの場所に集まることで、買い物をしやすくした地域を商店街と呼びます。お店が並んでいるため、新鮮な食材やこだわりの品物を一度に見て選ぶことができるのが特徴です。
問7	答え 3 農家から集まった野菜を、トラックで市場から各地の店へ運ぶ	野菜や果物は、まず農家から市場へ出荷されます。その後、市場からトラックを使って各地の小売店へ運ぶことで、たくさんの人々に新鮮な作物を効率よく届けることができます。この一連の流れを流通と呼びます。
問8	答え 1 市内の直売店だけでなく、遠くの地域やインターネットで注文した人の家	食品工場で作られた製品は、工場がある地域の直売店で売られるだけでなく、隣の県などの遠方へ運ばれたり、インターネットなどで注文を受けた全国の消費者の家へ直接届けられたりします。
問9	答え 1 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため	リサイクルを行う一番の目的は、限りある資源をむだにせず、新しい製品に作り変えて有効に使うことです。これにより、捨てるごみの量を減らすことができます。
問10	答え 2 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため	もし市場がなければ、農家はバラバラにたくさんのお店へ直接野菜を運ばなければならず、大変な手間がかかります。市場があることで、多くの野菜を一度に仕分けし、スーパーや八百屋さんへスムーズに届けることができるようになります。
問11	答え 1 高速道路の入り口の近く	完成した製品をトラックで素早く全国に届けるためには、交通の便が良い場所が選ばれます。高速道路の入り口に近い場所だと、トラックでの移動がスムーズになり、輸送の時間を短くすることができるからです。
問12	答え 4 むじんはんばい所	むじんはんばい所は、販売する人がずっとそこにいなくても営業できる仕組みです。農家のすぐ近くにあることが多く、新鮮な野菜を気軽に買うことができます。
問13	答え 4 野菜の鮮度が少しずつ落ちていく	野菜は収穫された後、呼吸をして栄養分を使ってしまうため、時間が経つにつれて新鮮さが失われていきます。この鮮度の低下を防ぐために、朝早く収穫してすぐに市場やお店へ送るといったスピードがとても大切なのです。
問14	答え 1 野菜の味を濃くするために、収穫直前に水をたくさんまく	出荷準備とは、収穫したあとに新鮮な状態を保ち、見た目や品質を整える作業のことを指します。大きさや形をそろえたり、傷の有無を確認して箱詰めしたりすることは大切な準備ですが、収穫直前に水をまくことは出荷作業には含まれません。
問15	答え 2 一番大きい数字がグラフの中におさまるように目盛りを決める	グラフは、調べたデータがどのくらいの大きさなのかを正しく見せることが目的です。一番大きな数字がはみ出してしまえば正確な比較ができなくなるため、すべてのデータがグラフの中にきちんと入るように目盛りを設定する必要があります。
問16	答え 3 お店の人や買い物に来ているお客さんに迷惑をかけないように行動する。	店舗見学は、お店で働く人やお客さんがいる中で行われます。そのため、走ったり、商品にむやみにさわったり、大声を出したりすることは迷惑になり、危険でもあります。周りの人に配慮し、マナーを守って見学することが大切です。
問17	答え 2 ショッピングセンター	ショッピングセンターは、多くの店や飲食店が集まっているため、ただ買い物をするだけでなく、食事をしたり遊んだりして一日を楽しく過ごせる場所です。そのため、車で少し遠くからでも家族で訪れる人が多いという特徴があります。

問1 スーパーマーケットの店内の様子について、正しい説明はどれですか？

1. レジの付近には何も置かないように決まっている
2. 食料品は売っているが、日用品は全く置いていない
3. 魚や野菜、日用品などが種類ごとに分けて陳列されている
4. 全ての品物がランダムに置かれている

問2 農家の人たちが、自分で作った野菜やくだものを、買う人に直接（ちよくせつ）売るために開いている施設を何といいますか。

1. 直売所（ちよくばいじょ）
2. 青果市場（せいかいちば）
3. デパート
4. スーパーマーケット

問3 鉛筆（えんぴつ）を作るために、木材といっしょに使われる原料は何でしょう。

1. 石油
2. 砂
3. 布
4. 黒鉛（こくえん）

問4 インターネットなどで注文された製品を、日本全国の消費者に届けることができるようになった一番の理由はなぜでしょうか？

1. 遠くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから
2. どの町にも、必ず大きな工場があるようになったから
3. 工場で作る製品の数が、以前よりも減ったから
4. すべての人が、自分の住む市内で作られたものしか買わなくなったから

問5 週末に家族みんなで車に乗って出かけ、食事や買い物を一日中楽しむことができる、広い敷地を持つ大型の商業施設を何と呼びますか。

1. 地域の八百屋さん
2. ショッピングセンター
3. 通学路にあるコンビニ
4. 駅前の小さな商店街

問6 農家でとれた野菜は、どうして一度「青果市場」のような場所に集められるのでしょうか。その理由として正しいものはどれですか。

1. 野菜をトラックに乗せかえるためだけに使うため
2. 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため
3. 野菜を洗ってきれいにするため
4. 野菜を長い間保存して値段を上げるため

問7 農家でとれた野菜や果物は、スーパーマーケットなどの店に並ぶ前に、一度どこへ集められることが多いでしょうか。

1. 工場
2. 遊園地
3. 青果市場
4. 銀行

問8 農家がお店に常駐することなく、野菜を置いておき、買う人が自分で代金を入れて商品を受け取る仕組みの販売所は何といいますか。

1. スーパーマーケット
2. 市の青果市場
3. 農業協同組合の直売所
4. むじんはんばい所

問9 スーパーマーケットについて調べる時、お店の工夫を理解するために最も大切なことは何ですか。

1. 売り場の広さや品物の種類だけを調べる
2. 品物の種類だけでなく、働いている人の工夫やお客さんの様子を調べる
3. お店の売り上げの金額だけを調べる
4. 近くにある他の店の情報を調べる

問10 棒グラフで、たて軸に「目盛り」を正しく書くために一番大切なことは何ですか。

1. 目盛りはすべて1ずつ書く
2. 一番大きい数字がグラフの中におさまるように目盛りを決める
3. 目盛りは書かなくても数字だけ書く
4. 縦軸はできるだけ短く書く

問11 食品工場で、仕事が忙しくて時間が足りないときでも、決して省略してはいけないことは何ですか？

1. 工場の中での挨拶
2. 衛生管理のための作業
3. 工場の宣伝活動
4. 休憩時間の延長

問12 駅のまわりなどに、肉屋さんや魚屋さんなど、いろいろな専門店が集まっている場所を何といいますか。

1. 商店街
2. 工場
3. コンビニエンスストア
4. ショッピングモール

問13 スーパーマーケットが、駐車場を広くしたり、お店の入り口に季節の品物を置いたりする主な目的は何でしょう。

1. お客さんが買い物に来やすく、買物をしやすくするため
2. 働いている人の休憩場所を広くするため
3. お店の建物をかっこよく見せるため
4. 近所の人に騒音で迷惑をかけないようにするため

問14 広い地域からたくさんの野菜を集め、それらを仕入れる業者にまとめて売る役割をもつ施設はどれですか。

1. 農業協同組合の直売所
2. 市の青果市場
3. むじんはんばい所
4. スーパーマーケット

問15 食品工場で、製品をきれいな状態のままお店に届けるために、一番最後に行われる大切な作業は何ですか。

1. 原料の準備
2. 混ぜ合わせる
3. 包装する
4. 加熱する

問16 スーパーマーケットで、お店に並べる商品を業者から買い入れる仕事を何といいますか。

1. 仕入れ
2. 品出し
3. 宣伝
4. レジ打ち

問17 スーパーマーケットで、牛乳パックや食品トレーをお客さんから集めるのはなぜですか。

1. 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため
2. 売れ残った商品を、安く売るため
3. お店の場所を広くして、買い物をしやすくするため
4. ごみを増やして、ごみ処理の場所を増やすため

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 魚や野菜、日用品などが種類ごとに分けて陳列されている	スーパーマーケットでは、魚や野菜といった生鮮食品のほか、パンや惣菜などの加工食品、さらに洗剤などの日用品まで、さまざまな品物が分類されて陳列されています。特にレジの近くには、特売品や大きな物が置かれるなど、買い物客の動きを考えた配置がなされています。
問2	答え 1 直売所（ちよくばいじょ）	直売所は、地元の農家が自分で育てた野菜やくだものを持ち寄り、消費者に直接売る場所です。新鮮な野菜などが安く手に入り、作った人の顔が見えるので安心して買うことができます。
問3	答え 4 黒鉛（こくえん）	鉛筆は、外側の部分は木材でできていますが、文字を書く中心の部分には「黒鉛」という鉱物が使われています。このように、一つの製品でも、それぞれの部品の役割に合わせて別の原料が組み合わされています。
問4	答え 1 遠くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから	以前は工場で作った場所の近くで売ることが中心でしたが、トラックによる輸送が発達したことで、遠く離れた場所や、インターネットで注文した人の家へ直接届けることが可能になりました。
問5	答え 2 ショッピングセンター	ショッピングセンターは、多くの店や飲食店が集まっているため、ただ買い物をするだけでなく、食事をしたり遊んだりして一日を楽しく過ごせる場所です。そのため、車で少し遠くからでも家族で訪れる人が多いという特徴があります。
問6	答え 2 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため	もし市場がなければ、農家はバラバラにたくさんのお店へ直接野菜を運ばなければならず、大変な手間がかかります。市場があることで、多くの野菜を一度に仕分けし、スーパーや八百屋さんへスムーズに届けることができるようになります。
問7	答え 3 青果市場	農家が収穫した作物は、まず青果市場や卸売市場に集められます。市場は、そこから全国のスーパーマーケットや八百屋さんへ作物を届けるための大切な中継地点であり、流通の拠点としての役割を果たしています。
問8	答え 4 むじんはんばい所	むじんはんばい所は、販売する人がずっとそこにいなくても営業できる仕組みです。農家のすぐ近くにあることが多く、新鮮な野菜を気軽に買うことができます。
問9	答え 2 品物の種類だけでなく、働いている人の工夫やお客さんの様子を調べる	スーパーマーケットがどのような工夫をしているのかを知るには、目に見える売り場の広さや品物だけでなく、働く人がどのようなことに気を配っているか、お客さんが買い物をしやすいようにどんな仕掛けがあるかなど、広い視点で調べることが大切だからです。
問10	答え 2 一番大きい数字がグラフの中におさまるように目盛りを決める	グラフは、調べたデータがどのくらいの大きさなのかを正しく見せることが目的です。一番大きな数字がはみ出してしまうと正確な比較ができなくなるため、すべてのデータがグラフの中にきちんと入るように目盛りを設定する必要があります。
問11	答え 2 衛生管理のための作業	食品工場で最も優先されるべきは、製品の安全を守ることです。たとえ仕事が忙しくても、食中毒や異物混入を防ぐための手洗いや清潔な服装といった衛生管理をおろそかにすると、安全な食品を作ることができなくなってしまいますため、どんなときも必ず守らなければなりません。
問12	答え 1 商店街	専門店がひとつの場所に集まることで、買い物をしやすくした地域を商店街と呼びます。お店が並んでいるため、新鮮な食材やこだわりの品物を一度に見て選ぶことができるのが特徴です。
問13	答え 1 お客さんが買い物に来やすく、買い物をしやすくするため	お店は、たくさんの人にお買い物をしてもらうために、車で来やすいように駐車場を整えたり、入り口に旬の品物を並べて季節感を出したりして、お客さんが買い物を楽しみやすくする工夫をしています。
問14	答え 2 市の青果市場	青果市場は、全国各地から集められた野菜や果物を、一度にたくさん仕入れるための拠点です。ここで仕入れられた野菜が、その後スーパーマーケットなどの店に運ばれていきます。
問15	答え 3 包装する	製品を袋や箱に入れる「包装」は、出来上がった製品が汚れたり傷んだりしないように守るために行われます。この作業を終えることで、製品は出荷できる状態となります。
問16	答え 1 仕入れ	お店の仕事の一つである「仕入れ」は、商品を業者から買い入れることを指します。ただ商品を運ぶだけでなく、どの商品がよく売れているかを調べて、必要な分だけを準備することが大切です。
問17	答え 1 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため	リサイクルを行う一番の目的は、限りある資源をむだにせず、新しい製品に作り変えて有効に使うことです。これにより、捨てるごみの量を減らすことができます。

問1 スーパーマーケットが、駐車場を広くしたり、お店の入り口に季節の品物を置いたりする主な目的は何でしょうか。

1. お客さんが買い物に来やすく、買い物をしやすくするため
2. 働いている人の休憩場所を広くするため
3. お店の建物をかっこよく見せるため
4. 近所の人に騒音で迷惑をかけないようにするため

問2 工場で作られた製品を、遠くの地域や消費者の家まで届けるために、主に使われているのりものはどれですか？

1. 船
2. ヘリコプター
3. トラック
4. 飛行機

問3 駅のまわりなどに、肉屋さんや魚屋さんなど、いろいろな専門店が集まっている場所を何といいますか。

1. 商店街
2. 工場
3. コンビニエンスストア
4. ショッピングモール

問4 コンビニエンスストアは、私たちの生活の近くでどんな役割をはたしていますか？

1. たくさんの服を一度にたくさん買う場所
2. 大きな家具や家電製品をじっくり選ぶ場所
3. 急な買い物や、すぐ食べる食料を手に入れる場所
4. まとめて買って食料を保存する場所

問5 鉄鋼業の工場が、海に近い場所に作られることが多いのはなぜでしょう。その理由として最も適切なものを選びましょう。

1. 海外から運ばれてくる重い原料を船から直接運び込みやすいため
2. 鉄製品を船で売ることがないから
3. 海からの風で工場を冷やすため
4. 海辺のほうが鉄を加工しやすいから

問6 農家でとれた野菜は、どうして一度「青果市場」のような場所に集められるのでしょうか。その理由として正しいものはどれですか。

1. 野菜をトラックに乗せかえるためだけに使うため
2. 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため
3. 野菜を洗ってきれいにするため
4. 野菜を長い間保存して値段を上げるため

問7 スーパーマーケットで、お客さんがいつでも欲しい商品を買えるように、棚の商品が少なくなったときに新しいものを足してきれいに並べる仕事を何といいますか。

1. 品出し
2. レジ打ち
3. 仕入れ
4. 接客

問8 食品工場で、仕事が忙しくて時間が足りないときでも、決して省略してはいけないことは何ですか？

1. 工場の中での挨拶
2. 衛生管理のための作業
3. 工場の宣伝活動
4. 休憩時間の延長

問9 製品をトラックで日本全国の町へ効率よく送るために、工場がわざわざ選ぶことが多い場所はどこですか。

1. 高速道路の入り口の近く
2. 海の中
3. 静かなお寺の中
4. せまい路地

問10 食品工場で、製品をきれいな状態のままお店に届けるために、一番最後に行われる大切な作業は何ですか。

1. 原料の準備
2. 混ぜ合わせる
3. 包装する
4. 加熱する

問11 食品工場で働く人が、作業をはじめる前に必ず行う「最も大切なこと」は何ですか？

1. 丁寧な手洗いや身だしなみのチェック
2. 製品の値段を安く決めること
3. 工場の窓をすべて開けること
4. 機械のスピードを速めること

問12 お店で、シャンプーや洗剤の「つめかえ用」の商品が売られている一番の理由は何ですか。

1. 容器にお金がかかっていないので、中身が全て無料になるから
2. プラスチックの容器を繰り返し使うことで、ごみを減らすため
3. つめかえ用の方が、必ず中身が多く入っているから
4. シャンプーを別の液体に混ぜて使うため

問13 農家でとれた野菜が、私たちの家にとどくまでには、いろいろな場所を通ります。たくさんの野菜がいったん集められて、そこからスーパーマーケットや八百屋さんに配られる場所を何といいますか。

1. ショッピングモール
2. 直売所
3. 青果市場
4. デパート

問14 なぜ、製品によって使う「原料」がちがうのでしょうか。もっとも適切な理由を選びましょう。

1. 製品の使い道や性質に合わせて、ぴったりのものを選ぶため
2. 昔から決まっている材料を必ず使うため
3. どの原料を使っても同じ製品ができるため
4. 工場が一番安く買えるものを使うため

問15 食品工場で、原料の準備から製品の完成まで、作業の順番が決まっているのはなぜですか。

1. 効率よく、衛生的に製品を作るため
2. 働く人の人数を減らすため
3. 決まった時間に工場を閉めるため
4. 機械を動かす時間を短くするため

問16 鉛筆（えんぴつ）を作るために、木材といっしょに使われる原料は何でしょう。

1. 石油
2. 砂
3. 布
4. 黒鉛（こくえん）

問17 使い終わったものを捨てずに、原料にもどして新しい製品に作り変えることを何といいますか。

1. しょうひ
2. むだづかい
3. リサイクル
4. ごみぶんべつ

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 お客さんが買い物に来やすく、買い物をしやすくするため	お店は、たくさんの人にお買い物をしてもらうために、車で来やすいように駐車場を整えたり、入り口に旬の品物を並べて季節感を出したりして、お客さんが買い物を楽しみやすくする工夫をしています。
問2	答え 3 トラック	製品を全国各地へ運ぶためには、道路を通して細かな場所まで移動できるトラックが主に活用されています。多くの製品がトラックに積み込まれ、効率よく届けられています。
問3	答え 1 商店街	専門店がひとつの場所に集まることで、買い物をしやすくした地域を商店街と呼びます。お店が並んでいるため、新鮮な食材やこだわりの品物を一度に見て選ぶことができるのが特徴です。
問4	答え 3 急な買い物や、すぐ食べる食料を手に入れる場所	コンビニエンスストアは、住宅地や駅の近くなど、利用者が生活する場所のすぐそばにあることが特徴です。そのため、今すぐに必要になったものや、その場で食べるための食料を、時間をかけずに買いに行くときにとっても便利です。
問5	答え 1 海外から運ばれてくる重い原料を船から直接運び込みやすいため	鉄鉱石や石炭はとても重く、大量に運ぶ必要があります。工場を海沿いに作れば、海外から届いた船から直接原料を運び込めるため、運ぶ手間や費用を少なくすることができます。
問6	答え 2 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため	もし市場がなければ、農家はバラバラにたくさんのお店へ直接野菜を運ばなければならず、大変な手間がかかります。市場があることで、多くの野菜を一度に仕分けし、スーパーや八百屋さんへスムーズに届けられることができるようになります。
問7	答え 1 品出し	売り場の棚を確認し、商品が少なくなっていたら在庫から補充してきれいに並べ直す作業は「品出し」と呼ばれます。単に並べるだけでなく、お客さんがいつでも欲しいものを手に取れるように、常に在庫の状況をチェックすることがとても大切です。
問8	答え 2 衛生管理のための作業	食品工場でも最優先されるべきは、製品の安全を守ることです。たとえ仕事が忙しくても、食中毒や異物混入を防ぐための手洗いや清潔な服装といった衛生管理をおろそかにすると、安全な食品を作ることができなくなってしまうため、どんなときも必ず守らなければなりません。
問9	答え 1 高速道路の入り口の近く	完成した製品をトラックで素早く全国に届けるためには、交通の便が良い場所が選ばれます。高速道路の入り口に近い場所だと、トラックでの移動がスムーズになり、輸送の時間を短くすることができます。
問10	答え 3 包装する	製品を袋や箱に入れる「包装」は、出来上がった製品が汚れたり傷んだりしないように守るために行われます。この作業を終えることで、製品は出荷できる状態となります。
問11	答え 1 丁寧な手洗いや身だしなみのチェック	食品工場では、食中毒や異物混入といった事故をふせぐために、作業員が清潔でいることが何よりも大切です。作業の前に行う丁寧な手洗いは、消費者に安全な食品を届けるための、工場で働く人の最も基本的な心構えです。
問12	答え 2 プラスチックの容器を繰り返し使うことで、ごみを減らすため	つめかえ用を使うことで、新しくプラスチック容器を買わずに済みます。これにより、プラスチックのごみを減らすことができ、環境にやさしい取り組みになります。
問13	答え 3 青果市場	青果市場は、全国から野菜が集まり、それを小売店などに分け合うための「中継地点」の役割をしています。市場があることで、多くの野菜を効率よく必要なお店へ運ぶことができる仕組みになっています。
問14	答え 1 製品の使い道や性質に合わせて、ぴったりのものを選ぶため	製品を作るときには、その製品をどんな風に使いたいかによって、ふさわしい原料が選ばれます。たとえば、丈夫なものが必要なら金属を、軽くて形を変えやすいものならプラスチックを使うなど、原料の性質をいかして製品が作られています。
問15	答え 1 効率よく、衛生的に製品を作るため	食品工場では、誰が作っても同じ品質で安全なものを作る必要があります。順番をしっかりと決めることで、ミスを防ぎ、効率よく、そして清潔に製品を作り続けることができます。
問16	答え 4 黒鉛（こくえん）	鉛筆は、外側の部分は木材でできていますが、文字を書く中心の部分には「黒鉛」という鉱物が使われています。このように、一つの製品でも、それぞれの部品の役割に合わせて別の原料が組み合わせられています。
問17	答え 3 リサイクル	一度使ったものをそのまま捨てるのではなく、再び資源として使うことでごみを減らす取り組みのことをリサイクルといいます。資源を大切に使い、地球環境を守るためにとても重要なことです。

問1 スーパーマーケットで見学中に、店内の様子を写真に撮りたいと考えました。どのように行動するのが適切ですか。

1. お店の人が撮影してもよいか事前に許可を取り、個人が写らないよう配慮する。
2. 他のお客さんに迷惑がかかるので、絶対に写真を撮ってはいけない。
3. 周りのお客さんが写らないようにして、勝手に撮影する。
4. お店の中なので、黙って自由に撮影してよい。

問2 鉄鋼業の工場が、海に近い場所に作られることが多いのはなぜでしょう。その理由として最も適切なものを選びましょう。

1. 海外から運ばれてくる重い原料を船から直接運び込みやすいため
2. 鉄製品を船で売ることがないから
3. 海からの風で工場を冷やすため
4. 海辺のほうが鉄を加工しやすいから

問3 コンビニエンスストアと、大きなスーパーマーケットを比べたとき、コンビニエンスストアの強みは何ですか？

1. お店の広さがとても広いこと
2. お店の場所が家の近くで便利なこと
3. 品物の数がいちばん多いこと
4. 大きな家具をたくさん売っていること

問4 農家でとれた野菜や果物は、スーパーマーケットなどの店に並ぶ前に、一度どこへ集められることが多いでしょうか。

1. 工場
2. 遊園地
3. 青果市場
4. 銀行

問5 お店で、シャンプーや洗剤の「つめかえ用」の商品が売られている一番の理由は何ですか。

1. 容器にお金がかかっていないので、中身が全て無料になるから
2. プラスチックの容器を繰り返し使うことで、ごみを減らすため
3. つめかえ用の方が、必ず中身が多く入っているから
4. シャンプーを別の液体に混ぜて使うため

問6 買い物調べにおいて、調べた店を「地図」に書き込むことにはどのような利点がありますか。

1. お店の値段を比べやすくなるから
2. お店の場所や、家との距離が分かりやすくなるから
3. 買い物をした日付がはっきりするから
4. お店の店員さんの人数が分かるから

問7 食品工場を建てる場所を決めるとき、最も重視される「交通の手段」はどれでしょうか。

1. 新幹線
2. 飛行機
3. トラック
4. 船

問8 広い地域からたくさんの野菜を集め、それらを仕入れる業者にまとめて売る役割をもつ施設はどれですか。

1. 農業協同組合の直売所
2. 市の青果市場
3. むじんはんばい所
4. スーパーマーケット

問9 なぜ、製品によって使う「原料」がちがうのでしょうか。もっとも適切な理由を選びましょう。

1. 製品の使い道や性質に合わせて、ぴったりのものを選ぶため
2. 昔から決まっている材料を必ず使うため
3. どの原料を使っても同じ製品ができるため
4. 工場が一番安く買えるものを使うため

問10 食品工場で、仕事が忙しくて時間が足りないときでも、決して省略してはいけないことは何ですか？

1. 工場の中での挨拶
2. 衛生管理のための作業
3. 工場の宣伝活動
4. 休憩時間の延長

問11 野菜や肉、たまごなどの日々の食料品を、ひとつの場所でまとめて買いそろえることができるお店を何といいますか。

1. スーパーマーケット
2. 百貨店
3. コンビニエンスストア
4. 専門店

問12 スーパーマーケットで、牛乳パックや食品トレーをお客さんから集めるのはなぜですか。

1. 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため
2. 売れ残った商品を、安く売るため
3. お店の場所を広くして、買い物をしやすくするため
4. ごみを増やして、ごみ処理の場所を増やすため

問13 インターネットなどで注文された製品を、日本全国の消費者に届けることができるようになった一番の理由は何でしょうか。

1. 遠くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから
2. どここの町にも、必ず大きな工場があるようになったから
3. 工場で作る製品の数が、以前よりも減ったから
4. すべての人が、自分の住む市内で作られたものしか買わなくなったから

問14 週末に家族みんなで車に乗って出かけ、食事や買い物を一日中楽しむことができる、広い敷地を持つ大型の商業施設を何と呼びますか。

1. 地域の八百屋さん
2. ショッピングセンター
3. 通学路にあるコンビニ
4. 駅前の小さな商店街

問15 スーパーマーケットの見学中に、お店の人が忙しく働いているのを見かけました。質問をしたとき、どのようにするのが最も良いマナーですか。

1. 作業の邪魔にならないよう、タイミングを見はからって声をかける。
2. 大きな声で呼びかけて、手を止めてもらう。
3. 忙しそうにしているので、質問があるときは自分たちだけで勝手に判断する。
4. 働く人は質問に答えるのが仕事なので、すぐに呼び止めて話しかける。

問16 商店街には、なぜたくさんの専門店が同じ場所に集まっているのでしょうか。理由として最もふさわしいものを選びましょう。

1. 店を大きくするために合体したため
2. 買い物を便利にして、多くの人に来てもらうため
3. すべての店が同じものを売るため
4. どこに店を出しても同じ結果になるため

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 お店の人に撮影してもよいか事前に許可を取り、個人が写らないよう配慮する。	お店には多くの人を訪れています。写真撮影をする際は、知らない人が勝手に写り込まないように配慮することが必要です。そのため、撮影前には必ずお店の人に「撮ってもいいですか」と確認し、許可をもらってからマナーを守って撮影するのが正しい手順です。
問2	答え 1 海外から運ばれてくる重い原料を船から直接運び込みやすいため	鉄鉱石や石炭はとても重く、大量に運ぶ必要があります。工場を海沿いに作れば、海外から届いた船から直接原料を運び込めるため、運ぶ手間や費用を少なくすることができます。
問3	答え 2 お店の場所が家の近くで便利なこと	スーパーマーケットは品数が豊富でまとめ買いに適していますが、コンビニエンスストアは、利用者の「今すぐほしい」という気持ちに応えるため、生活圏に近い場所にあることや、買い物がしやすいという利便性を大切にしています。
問4	答え 3 青果市場	農家が収穫した作物は、まず青果市場や卸売市場に集められます。市場は、そこから全国のスーパーマーケットや八百屋さんへ作物を届けるための大切な中継地点であり、流通の拠点としての役割を果たしています。
問5	答え 2 プラスチックの容器を繰り返し使うことで、ごみを減らすため	つめかえ用を使うことで、新しくプラスチック容器を買わずに済みます。これにより、プラスチックのごみを減らすことができ、環境にやさしい取り組みになります。
問6	答え 2 お店の場所や、家との距離が分かりやすくなるから	単にお店をリストにするだけでなく、地図を使って視覚的に整理することで、お店がどこに固まっているのか、家からどのくらいの距離にあるのかといった位置関係がひと目で理解できるようになるためです。
問7	答え 3 トラック	食品工場からスーパーマーケットやお店に製品を運ぶときは、細かな道を通って直接お店まで運べるトラックが使われることがほとんどです。そのため、トラックが走りやすい高速道路の近くが、立地条件として非常に重要になります。
問8	答え 2 市の青果市場	青果市場は、全国各地から集められた野菜や果物を、一度にたくさん仕入れるための拠点です。ここで仕入れられた野菜が、その後スーパーマーケットなどの店に運ばれていきます。
問9	答え 1 製品の使い道や性質に合わせて、ぴったりのものを選ぶため	製品を作るときには、その製品をどんな風に使いたいかによって、ふさわしい原料が選ばれます。たとえば、丈夫なものが必要ななら金属を、軽くて形を変えやすいものならプラスチックを使うなど、原料の性質をいかして製品が作られています。
問10	答え 2 衛生管理のための作業	食品工場でも最優先されるべきは、製品の安全を守ることです。たとえ仕事が忙しくても、食中毒や異物混入を防ぐための手洗いや清潔な服装といった衛生管理をおろそかにすると、安全な食品を作ることができなくなってしまうため、どんなときも必ず守らなければなりません。
問11	答え 1 スーパーマーケット	スーパーマーケットは、毎日の生活に必要な食料品や日用品を、広い売り場の中で一度にまとめて購入できるように作られたお店です。多くの商品を一度に選ぶことができるため、効率よく買い物をしたいときに便利です。
問12	答え 1 新しい製品の原料にして、資源を有効につかうため	リサイクルを行う一番の目的は、限りある資源をむだにせず、新しい製品に作り変えて有効に使うことです。これにより、捨てるごみの量を減らすことができます。
問13	答え 1 遠くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから	以前は工場で作った場所の近くで売ることが中心でしたが、トラックによる輸送が発達したことで、遠く離れた場所や、インターネットで注文した人の家へ直接届けることが可能になりました。
問14	答え 2 ショッピングセンター	ショッピングセンターは、多くの店や飲食店が集まっているため、ただ買い物をするだけでなく、食事をしたり遊んだりして一日を楽しく過ごせる場所です。そのため、車で少し遠くからでも家族で訪れる人が多いという特徴があります。
問15	答え 1 作業の邪魔にならないよう、タイミングを見はからって声をかける。	お店の人は、お客様に商品を届けるために一生懸命働いています。質問をしたいときに無理やり話しかけると、作業の妨げになってしまいます。相手の状況を見て「今なら話しかけても大丈夫かな」と配慮することが、見学における大切なマナーです。
問16	答え 2 買い物を便利にして、多くの人に来てもらうため	商店街は、駅前のような便利な場所にいろいろなお店が集まることで、買い物をする人がひとつの場所で必要なものをそろえられるように工夫されています。こうして人が集まりやすい環境をつくるのが、商店街の大きな目的です。

問1 農家の人が、まだ日が昇る前の早朝に野菜を収穫（しゅうかく）するのはなぜでしょう。一番の理由を選びましょう。

1. 朝早く収穫すると野菜の重さが軽くなって運びやすいから
2. お店が午前中しか開いていないから
3. 野菜をできるだけ新鮮なうちに届けるため
4. 昼間は畑に入っただけではいけない決まりがあるから

問2 工場が港や高速道路の近くなど、特定の場所に集まってつくられる一番の理由は何ですか。

1. みんなが同じ場所で働くと楽しいから
2. 製品の原料を運んだり、完成品を配ったりするのに便利だから
3. 景色がきれいで観光客が来るから
4. 広い土地があればどこでも良かったから

問3 食品工場を建てる場所を決めるとき、最も重視される「交通の手段」はどれでしょうか。

1. 新幹線
2. 飛行機
3. トラック
4. 船

問4 週末に家族みんなで車に乗って出かけ、食事や買い物を一日中楽しむことができる、広い敷地を持つ大型の商業施設を何と呼びますか。

1. 地域の八百屋さん
2. ショッピングセンター
3. 通学路にあるコンビニ
4. 駅前の小さな商店街

問5 野菜を収穫してからお店に並ぶまでの間に、時間が経つとどのようなことが起きますか。

1. 野菜の色が自動的にあざやかになる
2. 野菜の重さがどんどん増える
3. 野菜が自然に洗われる
4. 野菜の鮮度が少しずつ落ちていく

問6 棒グラフを作る際、グラフの中に「その他」という項目を入れるのはなぜですか。

1. 縦軸の目盛りを少なくするため
2. グラフの見え目をきれいにするため
3. 当てはまる項目がないデータをまとめてグラフにするため
4. 計算をまちがえやすくするため

問7 広い地域からたくさんの野菜を集め、それらを仕入れる業者にまとめて売る役割をもつ施設はどれですか。

1. 農業協同組合の直売所
2. 市の青果市場
3. むじんはんばい所
4. スーパーマーケット

問8 農家でとれた野菜が、私たちの家にとどくまでには、いろいろな場所を通ります。たくさんの野菜がいったん集められて、そこからスーパーマーケットや八百屋さんに配られる場所を何といいますか。

1. ショッピングモール
2. 直売所
3. 青果市場
4. デパート

問9 買い物調べの結果を棒グラフにすると、データを並べる順番としてもっとも適切なのはどれですか。

1. 思いついた順に並べる
2. 数字が多い順に左から並べる
3. 数字が小さい順に並べる
4. 店名のあいうえお順に並べる

問10 使い終わったものを捨てずに、原料にもどして新しい製品に作り変えることを何といいますか。

1. しょうひ
2. むだづかい
3. リサイクル
4. ごみぶんべつ

問11 スーパーマーケットで見学中に、店内の様子を写真に撮りたいと考えました。どのように行動するのが適切ですか。

1. お店の人に撮影してもよいか事前に許可を取り、個人が写らないよう配慮する。
2. 他のお客さんに迷惑がかかるので、絶対に写真を撮ってはいけない。
3. 周りのお客さんが写らないようにして、勝手に撮影する。
4. お店の中なので、黙って自由に撮影してよい。

問12 農家でとれた野菜は、どうして一度「青果市場」のような場所に集められるのでしょうか。その理由として正しいものはどれですか。

1. 野菜をトラックに乗せかえるためだけに使うため
2. 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため
3. 野菜を洗ってきれいにするため
4. 野菜を長い間保存して値段を上げるため

問13 製品をトラックで日本全国の町へ効率よく送るために、工場がわざわざ選ぶことが多い場所はどこですか。

1. 高速道路の入り口の近く
2. 海の中
3. 静かなお寺の中
4. せまい路地

問14 食品工場で働く人が、作業をはじめる前に必ず行う「最も大切なこと」は何ですか？

1. 丁寧な手洗いや身だしなみのチェック
2. 製品の値段を安く決めること
3. 工場の窓をすべて開けること
4. 機械のスピードを速めること

問15 スーパーマーケットで、お客さんがいつでも欲しい商品を買えるように、棚の商品が少なくなったときに新しいものを足してきれいに並べる仕事を何といいますか。

1. 品出し
2. レジ打ち
3. 仕入れ
4. 接客

問16 インターネットなどで注文された製品を、日本全国の消費者に届けることができるようになった一番の理由はなぜでしょうか？

1. 遠くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから
2. どの町にも、必ず大きな工場があるようになったから
3. 工場で作る製品の数が、以前よりも減ったから
4. すべての人が、自分の住む市内で作られたものしか買わなくなったから

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 野菜をできるだけ新鮮なうちに届けるため	野菜は収穫した瞬間から少しずつ水分が失われ、鮮度が落ちていきます。気温が低く野菜が水分をたっぷり含んでいる朝一番に収穫し、すぐに届けることで、みずみずしく新鮮な状態でお店に並べることができます。
問2	答え 2 製品の原料を運んだり、完成品を配ったりするのに便利だから	工場を運営するためには、原料を安く運び込み、完成した製品を全国へ速やかに届けるという「輸送の利便性」が欠かせません。そのため、工場は行き当たりばったり建つのではなく、海や道路に近い場所など、効率よく仕事ができる場所を考えて選ばれています。
問3	答え 3 トラック	食品工場からスーパーマーケットやお店に製品を運ぶときは、細かな道を通って直接お店まで運べるトラックが使われることがほとんどです。そのため、トラックが走りやすい高速道路の近くが、立地条件として非常に重要になります。
問4	答え 2 ショッピングセンター	ショッピングセンターは、多くの店や飲食店が集まっているため、ただ買い物をするだけでなく、食事をしたり遊んだりして一日を楽しく過ごせる場所です。そのため、車で少し遠くからでも家族で訪れる人が多いという特徴があります。
問5	答え 4 野菜の鮮度が少しずつ落ちていく	野菜は収穫された後、呼吸をして栄養分を使ってしまうため、時間が経つにつれて新鮮さが失われていきます。この鮮度の低下を防ぐために、朝早く収穫してすぐに市場やお店へ送るというスピードがとて大切なのです。
問6	答え 3 当てはまる項目がないデータをまとめてグラフにするため	調べたすべてのデータをグラフにまとめるためには、特定の項目に当てはまらないものも整理する必要があります。それらを「その他」として一つにまとめることで、すべてのデータをグラフに正しく表すことができます。
問7	答え 2 市の青果市場	青果市場は、全国各地から集められた野菜や果物を、一度にたくさん仕入れるための拠点です。ここで仕入れられた野菜が、その後スーパーマーケットなどの店に運ばれていきます。
問8	答え 3 青果市場	青果市場は、全国から野菜が集まり、それを小売店などに分け合うための「中継地点」の役割をしています。市場があることで、多くの野菜を効率よく必要なお店へ運ぶことができる仕組みになっています。
問9	答え 2 数字が多い順に左から並べる	数字が多い順に左から並べることで、どの項目が一番大きく、どれくらい差があるのかを一目で比べることができるようになるためです。データの違いをわかりやすく伝えるための大切なルールです。
問10	答え 3 リサイクル	一度使ったものをそのまま捨てるのではなく、再び資源として使うことでごみを減らす取り組みのことをリサイクルといいます。資源を大切に使い、地球環境を守るためにとても重要なことです。
問11	答え 1 お店の人に撮影してもよいか事前に許可を取り、個人が写らないよう配慮する。	お店には多くの人を訪れています。写真撮影をする際は、知らない人が勝手に写り込まないように配慮することが必要です。そのため、撮影前には必ずお店の人に「撮ってもいいですか」と確認し、許可をもらってからマナーを守って撮影するのが正しい手順です。
問12	答え 2 多くの野菜を効率よく全国のお店に配るため	もし市場がなければ、農家はバラバラにたくさんのお店へ直接野菜を運ばなければならず、大変な手間がかかります。市場があることで、多くの野菜を一度に仕分けし、スーパーや八百屋さんへスムーズに届けることができるようになります。
問13	答え 1 高速道路の入り口の近く	完成した製品をトラックで素早く全国に届けるためには、交通の便が良い場所が選ばれます。高速道路の入り口に近い場所だと、トラックでの移動がスムーズになり、輸送の時間を短くすることができるからです。
問14	答え 1 丁寧な手洗いや身だしなみのチェック	食品工場では、食中毒や異物混入といった事故をふせぐために、作業員が清潔でいることが何よりも大切です。作業の前に行う丁寧な手洗いは、消費者に安全な食品を届けるための、工場働く人の最も基本的な心構えです。
問15	答え 1 品出し	売り場の棚を確認し、商品が少なくなっていたら在庫から補充してきれいに並べ直す作業は「品出し」と呼ばれます。単に並べるだけでなく、お客さんがいつでも欲しいものを手に取れるように、常に在庫の状況をチェックすることがとても大切です。
問16	答え 1 速くまで製品を運ぶための輸送手段が発達したから	以前は工場で作った場所の近くで売ることが中心でしたが、トラックによる輸送が発達したことで、遠く離れた場所や、インターネットで注文した人の家へ直接届けることが可能になりました。